

看護学専攻 修了後の進路 — 多様なフィールドで広がるキャリア —

2026年3月現在、看護学専攻の修了生36名が、教育・看護実践・行政など多様な領域で活躍しています。ここでは、その主な進路をご紹介します。

■ 教育職としての活躍

[上智大学で活躍する修了生]

氏名	役職・専門分野	修了年度
田村南海子	准教授（成人看護学）	2012
徳永瑞奈	助手（老年看護学）	2022
大木悦子	助手（基礎看護学）	2015
池田菜々恵	助手（基礎看護学）	2025



[全国の大学で活躍]

- 東京工科大学
- 埼玉県立大学
- 杏林大学
- 長野県看護大学
- 帝京大学
- 福岡女学院看護大学 …ほか多数

■ 看護実践者・看護管理者としての活躍

[主な勤務先]

- 聖マリアンナ医科大学病院
- がん研有明病院
- 東京科学大学病院



■ 行政での活躍

- 厚生労働省 看護系技官 岡野美帆（2023年度修了）

教育・実践・行政の3領域で修了生が活躍しています。看護学専攻で培った高度な知識と実践力が、多様なキャリアへとつながっています。

アドミッション・ポリシー

上智大学大学院 総合人間科学研究科 看護学専攻（修士課程）では、次のような資質・能力を高めたいと望む学生を求めています。

01 自らの看護観を再構成し、高い倫理観を持って研究を進める力

02 人々の発達・健康レベルに応じ、背景となる文化や多様性を理解したケアリング力

03 研究能力や専門性を活かして自己の研究成果を社会に還元する力

04 学内外の設備・リソースを積極的に活用して研究や実践を行う力



2026年度カリキュラム

科目名	単位数		開講時期	
	必修	選択	春学期	秋学期
キリスト教と人間論特論	2		M1●(1Q)	
看護研究法IA	2		M1●(1Q)	
看護研究法IB	2		M1●(2Q)	
倫理学特論	2		●(偶数年度)	
医療政策特論	2		○(奇数年度)	
看護理論	2		●(偶数年度)	
ケアリング特論	2		●(2Q 集中)	
ヘルスケア哲学	2			●
生涯発達学特論	2			○(奇数年度)
国際比較文化論	2			●(偶数年度)
看護研究法II(質的研究)	2			M1●
看護研究法III(量的研究)	2			M1●
看護管理学特論	2			●(偶数年度)
看護教育学特論	2			○(奇数年度)
宗教と身体性	2			
死生学演習	2			
死生学研究	2			死生学専攻開講科目
生命倫理学研究	2			
医療人文学演習	2			
環境と健康	2			地球環境学専攻開講科目
データの可視化と分析	2			
戦略思考と意思決定	2			
政策・事業評価	2			応用データサイエンス学位プログラム開講科目
コミュニケーションダイナミクス	2			
変革型リーダーシップ	2			
分野横断研究法：原理と技法	2			神学専攻開講科目
看護学特別研究演習I	2		M2●	
看護学特別研究演習II	2			M2●
修士論文	0		○(9月修了)	●(3月修了)
専門看護学特論	2		●	
専門看護学ゼミ	2			M1●
専門看護学演習	2			M1●
フィールドワーク	2		M2●	
研究指導				

2027年度入試 説明会

第1回	2026年 6月 3日(水) 18:00～
第2回	2026年11月11日(水) 18:00～

場 所	四谷キャンパス 2号館 16階 2-1630 会議室 ハイフレックス(対面+オンライン)で開催
-----	--

※入試ご希望の方は入試説明会に必ず参加し、希望する研究分野の教員（未定の場合は専攻主任）と面談をしてください。
※研究指導の領域は、基礎、成人、老年、小児、小児、母性（ウィメンズ）、在宅、地域、看護、国際看護学です。

2027年度入試 日程

	2026年9月入試(2027年4月入学)	2027年2月入試(2027年4月入学)
Web出願期間	6月26日(金)～7月8日(水)	11月27日(金)～12月9日(水)
出願書類提出期限	7月9日(木) 消印有効	12月10日(木) 消印有効
受験票公開(Web出願サイト マイページ)	9月2日(水) 10:00	2月3日(水) 10:00
筆記試験・口述試験	9月9日(水)	2月16日(火)
合格発表(Web出願サイト マイページ)	9月25日(金) 10:00	3月1日(月) 10:00
入学手続き締切日	10月16日(金)	3月10日(水)

「学内進学者免除」について：
以下の条件を満たし、事前申請が認められた場合は、「外国語(英語)」の試験が免除される制度です。
●上智大学 看護学科の卒業生であること
●看護、医療福祉、学校、行政などでの通算3年以上の実務経験があること
※詳細は「上智大学 大学院入試要項」をご確認ください

学費

	看護学専攻(修士課程)	長期履修制度	摘要
入学金※	200,000	200,000	入学時のみ
在籍料	30,000	30,000	各学期
授業料	482,000	321,330	各学期
教育充実費	90,000	60,000	各学期
実験実習研究費	44,000	29,330	各学期
学生教育研究 災害傷害保険料	1,400	2,100	入学時のみ
	春学期 847,400	642,760	
	秋学期 646,000	440,660	
	1年分 1,493,400	1,083,420	

※上智大学、上智短期大学(現：上智大学短期大学部)、聖母大学を卒業(修了)した方の入学金については以下の通りとなります(予定者を含む)。
a. 上智大学、上智短期大学(現：上智大学短期大学部)を卒業(修了)後、1年未満に入学した場合…全額免除
b. 上智大学、上智短期大学(現：上智大学短期大学部)、聖母大学を卒業(修了)後、1年以上経過して入学した場合…半額免除



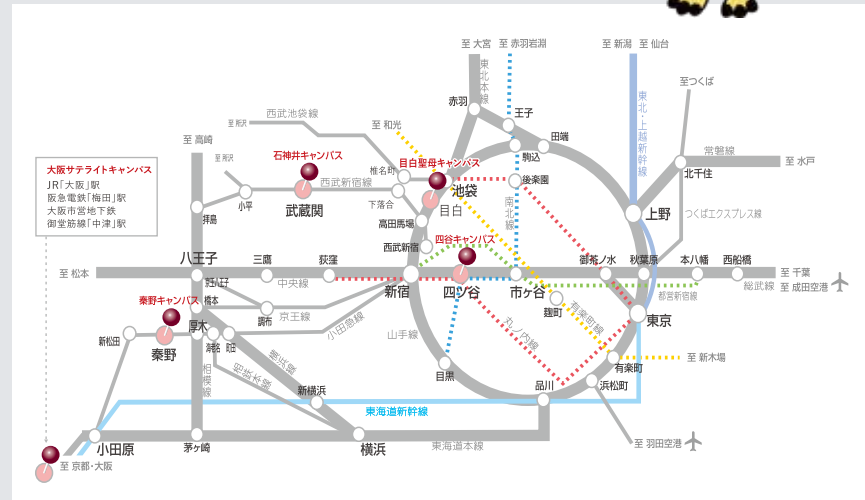
お問い合わせ先&アクセスマップ

[看護学専攻に関するお問い合わせ]

総合人間科学研究科 看護学専攻事務室
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町7-1
TEL：03-3238-3278
E-mail：dp-nurse@sophia.ac.jp

[入試に関するお問い合わせ]

入学センター
TEL：03-3238-3517
https://adm.sophia.ac.jp/jpn/in_ad/



[看護学専攻ホームページ]
https://www.sophia.ac.jp/jpn/academics/g/g_hs/kangosenkou/



[看護学専攻 WEBサイト]
https://fhs.sophia.ac.jp/postgraduate/nursing

上智大学大学院

総合人間科学研究科 看護学専攻
(修士課程)

Graduate School of Human Sciences
Master's Program in Nursing

2027



人間の尊厳を軸に、 学問は交差する



看護の未来を創る6つの専門領域

【老年看護学領域】

高齢者の暮らしを支える
実践知とケアシステムの創造
坂井志麻

老年看護学領域では、「看護実践の質の向上と体系化」を中心テーマに、急速に変容する医療・ケア環境で、高齢者と家族がその人らしく暮らし続けられる社会の実現をめざし、看護専門職が果たす役割を理論的かつ実践的に探究しています。入退院支援、多職種連携、意思決定支援、エンドオブライフケア、認知症ケア、ケア倫理、医療・看護ケアシステムの開発など、多様なテーマに取り組んでいます。病院、在宅、施設、行政といった幅広い場では生じる課題に寄り添いながら、実践に根ざした研究を積み重ね、よりよい看護のあり方を探究していきます。研究と実践が相互に循環して発展する関係性を大切にし、高い専門性と当事者の視点を備えた看護の深化を目指します。

【ウィメンズヘルス・助産学領域】

女性の生涯を支えるケアと
マタニティ支援の探究
嶋山貴代

ウィメンズヘルス・助産学領域では、女性の生涯にわたる性と生殖におけるウィメンズヘルスケア、そして妊娠・出産・育児期にある女性と家族に向けたマタニティケアの視点のもとに研究を行います。研究対象はケアの受け手である女性と家族、ケアを実施する看護職、ケアを学ぶ学生などにわたり、リサーチクエスチョンから導かれる研究目的に見合った方法を用い、最善のケアにつながる研究を展開します。具体的には対象理解に向けた質的研究から評価研究など多岐にわたります。教員の研究テーマにこだわらず、学生がもつリサーチクエスチョンと教員がもつ実践および研究経験を活かし、課題解決に向けた取り組みとライフワークの発見をサポートします。

【地域・在宅看護学領域】

多層的に生活を捉え、
地域のケアシステムをデザインする
高羽美穂子

地域・在宅看護学領域では、看護師、保健師、養護教諭などの経験に基づき、地域、在宅、学校など地域の多様な場で捉えた看護実践上の課題に目を向け、研究課題として焦点化し、研究プロセスを踏み課題解決を目指します。看護の場は異なっても、対象となる人々のニーズや背景を捉え、創造的に看護を行うことは共通しています。また、地域での人々の生活を支えるために、多職種連携も共通する課題です。そのため、多角的な視野でものごとを捉え、個人、集団、組織、地域を対象としたケアのあり方、ケア環境の改善、ケアシステムの構築、地域づくり、公衆衛生的な課題などについて、適した研究手法を選択し、多層的かつ包括的に看護を追究していきます。

【地域・在宅看護学領域】

グローバルな視野で社会を読み解き、
未来を創る看護へ
岡本菜穂子

看護の視点を核に捉えつつ、複雑化する社会課題を複眼的に捉え、多様なアクターと協働して解決に導くー私たちは、研究成果を単なる理論に留めず、社会に還元する「実践に即した研究」を推進しています。研究フィールドは国内に留まりません。国内外の研究者とのネットワークを活かした国際共同研究を通じて、ダイナミックに変化する国際社会の課題に挑戦しています。グローバルな視点で社会課題に挑み、世界を舞台に活躍できる次世代のリーダの育成を目指します。皆さんと、新しい看護の可能性を切り拓けることを楽しみにしています。

【小児看護学領域】

子どもと家族の“今”をとらえ、
最善の利益を守る看護研究
草柳浩子

小児看護学領域では、変化し続ける社会の中で生じる子どもと家族を取り巻く複雑な課題を多角的に理解し、子どもの最善の利益を守るための看護実践を探求します。理論や概念を丁寧に学ぶことに加え、観察やインタビューなどのデータ収集方法の体験的な学習を通して、子どもと家族の「今」を的確にとらえる力を育み、課題を研究的に捉える姿勢を高めています。国内外の知見を統合しながら学生一人ひとりの関心を通った研究課題について、柔軟な発想、批判的思考を働かせ、臨床や地域へ還元できる子どもや家族の思いに寄り添った支援のあり方を追究していきます。

【基礎看護学領域】

看護の本質を問い、
実践の価値を理論化する基盤領域
塚本尚子

基礎看護学領域では、「看護の本質の探究」を中心テーマとして掲げ、看護実践の根底にある価値・意味・倫理を多角的に明らかにすることを目指しています。また、これらの実践を支える看護管理や看護教育についても広く取り扱い、看護を取り巻く基盤的課題を総合的に捉えます。研究対象は、患者様やご家族のみならず、看護師、看護管理者、看護学生など、看護に関わる多様な人々を含みます。研究アプローチは多様であり、研究目的に応じて、質問紙調査、面接調査、実験研究など、適切な方法論を選択しながら研究を進めます。本領域では、これらの方法論を用いた研究の企画・実施・分析・考察を総合的に支援し、看護の本質に迫る学術的探究を推進します。

【成人看護学領域】

病と生きる力を、
ともに紡ぐ
三次真理

成人看護学領域では、がんとともに生きる人とその家族がよりよく生きることを支える実践的研究に取り組みます。がん医療の進化によりサバイバーシップは複雑化し、サバイバーは治療や症状の問題に加え、就労や家族関係、価値観の再構築など生活者としての多様な課題に直面しています。それら乗り越えながら自分らしい人生を築く全人的プロセスを支援することが、看護師に求められています。本領域では、Margaret Newmanの拡張する意識としての健康の理論を基盤に、臨床で生じる気がかりな現象をその人の人生の意味の核がかりとして捉え、対象者とのパートナーシップにおける相互性の探究を通して、双方の成長を促すケアの創出を目指します。がん以外の病をもつ人のケアに関心のある方も歓迎します。

看護学専攻の講義担当教員

船木由香（基礎看護学）	吉野八重（国際看護学）
小高恵実（メンタルヘルス）	田村南海子（成人看護学）
大河原啓文（老年看護学）	手塚園江（小児看護学）
松永真由美（母性看護学）	

学びが私を変えた — 修了生が語る大学院の2年間 —

医療現場で活躍する修了生の声



笹本麻美（がん研有明病院 教育担当看護師長）2017年度修了生

私は大学院入学前から現在まで一貫して同じ病院に勤務し、中堅看護師、副院長を経て、現在は看護師長として組織管理に携わっています。在学中も現場での実践を継続したことは、理論を即座に臨床へ還元する貴重なプロセスとなりました。修士課程では「中堅看護師のエンパワメントとキャリアデザイン」を研究しました。当時は私自身も中堅期特有の葛藤の中にありましたが、研究を通じた自己理解が、今ではスタッフのキャリア支援に直結しています。悩みや迷いを「成長の分岐点」というポジティブな証左として捉え、効果的な助言ができるようになりました。研究活動を通して得た知見は、現在の管理者としての働きを支える強固な基盤となっています。

大学院で学び、深く考え抜いた経験は、それまで慣れ親しんだ現場の風景を一変させました。人間の尊厳をより深く再認識し、他職種への働きかけや患者・家族への誠実な関わりなど、看護の幅が格段に広がったと実感しています。また、他専攻の学生との議論で培った多角的な視点や論理的思考は、現在、施設内外の人々と建設的な議論を行う上で大きな力となっています。看護師としての誇りを再確認させてくれた2年間だったと感じています。（修士論文：エンパワメント構造が中堅看護師のキャリアデザインを介して精神的エンパワメントに及ぼす影響）

笹本麻美・塚本尚子（2020）、エンパワメント構造とキャリアデザインが中堅看護師の精神的エンパワメントに及ぼす影響、日本看護管理学会誌, 24（1）、154-163.

上智大学で活躍する修了生の声



田村南海子（上智大学総合人間科学部看護学科准教授）2012年度修了生

私は看護師として移植医療に関わらせて頂く中で、脳死下臓器移植におけるドナーへの看護に関心を持ち、大学院への進学を決めました。総合人間科学研究科という他の学問領域と共にある看護学専攻における学びは、8年間の病院勤務における経験を捉え直すとても豊かで知的な刺激の溢れる時間になりました。人が生きなくなることは、社会における医療や看護とは、そのようなことの1つ1つを授業や研究指導を通して先生方が研究テーマに応じ丁寧に議論してくださりました。授業やゼミの帰り道はいつも温かな興奮に包まれていたことを思い出します。

教員になった現在、今度は私がそのような温かな興奮を生み出せるように学生さんと学んでいきたいと思う日々です。（修士論文：脳死下臓器提供プロセスにおける体験と心理的奇跡〜ドナー家族に対する看護ケアの発展に向けて）

🎖️ 日本質的心理学会 論文賞（優秀フィールド論文賞）受賞

田村南海子・塚本尚子（2014）、ドナー家族の脳死下臓器提供プロセスにおける体験と心理的軌跡—ドナー家族に対する看護ケアの発展に向けて—、質的心理学研究, 14、146-165.



池田菜々恵（上智大学総合人間科学部看護学科助手）2025年度修了生

私は上智大学総合人間科学部看護学科を卒業後、都内の大学病院に就職し、アレルギーリウマチ内科と腎臓内分秘科の混合病棟で看護師として働いてきました。日々の看護場面では、様々な患者さんと出会い、看護の楽しさややりがいを感じていたと思います。その中で、私はある患者さんとの出会いによって、看護に出来ることはなんなのだろうという問いに突き当たり、自分がこれまで学び実践してきた「看護」の限界を感じるようになりました。看護の本質と可能性をもう一度学び直し、自分なりの答えを導き出してみたいという思いから、看護学専攻への進学を決めました。

修士1年目では、研究方法に関する授業が主となりますが、2年間を通して自身の臨床経験を再考できるような授業が多くあります。また、総合大学であり、他学部・他専攻の科目を履修することも可能です。私は、人が「生きる」とはどういうことかという問いや、看護にしかできないケアリングはどのような現象かといった臨床疑問を持っていたため、哲学や神学に関する学部の授業もいくつか履修していました。生活面では、介護施設でアルバイトをしており、看護の場にいる感覚を持ち続けること

で自分の気分転換にも繋げていました。修士論文の作成過程について、当初言語化すら難しかった臨床疑問を研究として組み立てていく作業はとても大変でしたが、すべての過程で指導教授や先生方、ゼミ生にあたかく支えられ、導いていただき、乗り越えられたと感じています。修士課程では研究方法を学びながら実現可能性も含めて検討し、指導の下一步ずつ進めていくことで、最終的に患者へと還元できるものを示していくことが求められていると思います。また、自分の研究は何に向かっているか、その足がかりとして修士課程では何から明らかにする必要があるかという思考の位置づけについても常に考えさせられ、今後の展望も含めてこの2年間は大きな学びとなりました。

大学院を修了し、2026年4月から基礎看護学領域の助手として勤務しています。これからの看護を担っていく学生の成長を支えていきたいと考えています。研究活動では、これまで出会ってき一人ひとりの患者さんの思いや、一緒に過ごした日々を忘れず、質の高い看護の創造に寄与できるよう、日々取り組んでいます。（修士論文：臨床期膠原病患者の「生きる」ことへの合意形成支援の実態と影響要因の検討）

【大学院での学びの実際（池田さんのケース）】

1 年次<春学期>		※(2Q)夏期集中講義(8月):ケアリング特論				
月	火	水	木	金		
3 限						
4 限			キリスト教と人間論特論			
5 限			看護理論	(1Q)看護研究法1A		
6 限	専門看護学特論	倫理学特論		(2Q)看護研究法1B		
2 年次<春学期>		月	火	水	木	金
1 限				パストラル・ケア		
2 限					形而上学I	
3 限						
4 限						看護学特別研究演習I
5 限						
6 限						

必修科目 選択科目 学部科目 ・看護学専攻の必修科目は、1年次は4・5限を中心に構成している。・本大学院では、大学院科目のみでなく、学部の科目も自由に履修することができる（青色部分）。・履修科目のほかに、時間割には入らないが2年間各学期に指導教員の「研究指導」の時間が必須となっている。